

【令和5年度評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理等

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

項目 No.	R5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																			
01	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 長期的に安定した運営に必要な医療従事者等を確保するため、計画的・効果的な職員採用に努める。 また、働き方改革に向けた医師のタスク・シフト(シェア)を進めるため、看護師、コメディカル等の安定的な確保と適切な配置を目指す。</p> <p>3 医師、看護師、コメディカル等の人材育成の充実 【医師】 国内外先進病院への研修派遣により、優れた医師を養成する。 また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実(各種学会や研修会参加支援等)を図る。 【看護師】 より水準の高い看護を提供するため、認定看護師や専門看護師、特定行為看護師等の資格取得又は認定看護管理者の資格取得を目指す</p>	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 ・看護師の確保については、年度途中の退職者を見込み年度当初に80人、年度途中1人採用することで、長時間勤務やローテーション維持等についての改善を図るとともに、診療報酬の要件である7:1看護体制を上回る体制を確保できた。 ・定年退職した医師を7人再雇用することで、人員の確保に努めた。</p> <p>○医療従事者の確保状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師</td> <td>182</td> <td>185</td> <td>188</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>常勤歯科医師</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師</td> <td>691</td> <td>720</td> <td>719</td> <td>741</td> </tr> <tr> <td>常勤コメディカル</td> <td>254</td> <td>265</td> <td>278</td> <td>283</td> </tr> <tr> <td>ドクターズアシスタント</td> <td>55</td> <td>61</td> <td>55</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>看護補助職員</td> <td>96</td> <td>95</td> <td>93</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年度末現在</p> <p>3 医師、看護師、コメディカル等の人材育成の充実 【医師】 ・高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図った。</p>	項目/年度	2020	2021	2022	2023	常勤医師	182	185	188	193	常勤歯科医師	4	4	4	4	常勤看護師	691	720	719	741	常勤コメディカル	254	265	278	283	ドクターズアシスタント	55	61	55	55	看護補助職員	96	95	93	100	IV		
項目/年度	2020	2021	2022	2023																																				
常勤医師	182	185	188	193																																				
常勤歯科医師	4	4	4	4																																				
常勤看護師	691	720	719	741																																				
常勤コメディカル	254	265	278	283																																				
ドクターズアシスタント	55	61	55	55																																				
看護補助職員	96	95	93	100																																				

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																							
	<p>す看護師に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。また、特定行為看護師については、特定行為看護師指定研修機関として引き続き外科術後病棟管理領域パッケージを院内外の看護師に対して実施し、より高度な医療に対応できる人材を育成する。</p> <p>・2023年度 受講予定 特定行為看護師4人（急性期診療モデル1人、外科術後領域3人） 認定看護管理者9人（ファーストレベル8人、サードレベル1人）</p> <p>・2023年度 資格試験予定 専門看護師1人（がん看護）、認定特定看護師1人（クリティカルケア）</p> <p>【コメディカル】 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会、タスク・シフト（シェア）に関する研修会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <p>4 高度先端医療の推進 高度先端医療など新しい医療技術について研究及び研修を行うとともに、高齢化社会に向けたより低侵襲な治療を積極的に導入する。また、がんや小児の分野におけるゲノム医療を積極的に取り組み、遺伝子レベルで病態を把握することにより、個々の患者に合った最適な医療を効率的に提供する。</p> <p>5 専門性を発揮したチーム医療の推進 医師・看護師・薬剤師のほか、コメディカル等</p>	<p>○医師の研修派遣・受入実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>○専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>563</td> <td>730</td> <td>817</td> <td>748</td> </tr> </tbody> </table> <p>【看護師】 ・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的に認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を確保した。また、看護師特定行為研修指定研修機関として、当センターの看護師に加え、外部の看護師も受け入れる等、特定行為看護師を育成する役割を果たした。</p>	項目／年度	2020	2021	2022	2023	派遣	2	1	2	3	受入	3	3	4	5	2020	2021	2022	2023	563	730	817	748			
項目／年度	2020	2021	2022	2023																								
派遣	2	1	2	3																								
受入	3	3	4	5																								
2020	2021	2022	2023																									
563	730	817	748																									

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																																																																																																						
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																																																																																																																																																					
	<p>の専門的知識を有した医療従事者が、医療ニーズに合わせたより質の高い医療を提供するために協働及び連携し、情報の共有化を行う。</p> <p>また、チーム医療を進める上で、医療従事者は専門性の高い知識や技術を習得し、ガイドラインやプロトコル等を活用した治療の標準化の浸透を図る。</p> <p>6 ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等の活用</p> <p>進夜帯や深夜帯における放射線専門医による画像コンサルテーションを引き続き実施するとともに、画像診断や内視鏡検査等におけるICTやAIの動向を注視し、活用を検討することにより、医師の負担軽減を図り、より安全かつ質の高い医療を提供できるよう努める。</p> <p>7 入退院支援の充実</p> <p>患者の状態や社会的背景に応じて、入院前から退院まで患者が安心して過ごせるよう支援する総合サポートセンターを中心に、入退院支援の充実を図る。入院時支援の対象診療科については、現在支援中の12診療科に加え、徐々に診療科を拡大し、更なる充実を図る。</p>	<p>○認定看護師等資格取得者在籍状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>がん化学療法</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>がん放射線療法看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>乳がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認知症</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>手術看護</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>精神科看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小児看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>特定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>創傷管理モデル</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>術中麻酔管理モデル</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>外科術後管理領域</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>認定遺伝カウンセラー</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37</td> <td>42</td> <td>47</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2020	2021	2022	2023	認定					がん化学療法	3	3	3	3	がん性疼痛	2	2	2	1	感染管理	3	3	4	4	救急看護	2	2	2	2	小児救急	1	1	1	1	摂食・嚥下障害	1	1	2	2	皮膚・排泄ケア	3	3	2	1	新生児集中ケア	2	1	2	2	集中ケア	2	2	2	3	糖尿病看護	1	1	0	0	がん放射線療法看護	1	1	1	1	乳がん看護	1	1	1	1	認定看護管理者	2	3	3	3	慢性心不全	1	1	1	1	緩和ケア	1	1	1	1	認知症	2	2	2	2	脳卒中リハビリテーション	1	1	1	1	手術看護	1	2	2	2	精神科看護	1	1	1	1	計	31	32	33	32	専門					小児看護	2	2	2	2	がん看護	1	1	0	1	計	3	3	2	3	特定					創傷管理モデル	1	1	1	1	術中麻酔管理モデル	2	3	4	5	外科術後管理領域	0	2	6	9	計	3	6	11	15	認定遺伝カウンセラー	0	1	1	1	合計	37	42	47	51			
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																																																																																																																																																						
認定																																																																																																																																																																										
がん化学療法	3	3	3	3																																																																																																																																																																						
がん性疼痛	2	2	2	1																																																																																																																																																																						
感染管理	3	3	4	4																																																																																																																																																																						
救急看護	2	2	2	2																																																																																																																																																																						
小児救急	1	1	1	1																																																																																																																																																																						
摂食・嚥下障害	1	1	2	2																																																																																																																																																																						
皮膚・排泄ケア	3	3	2	1																																																																																																																																																																						
新生児集中ケア	2	1	2	2																																																																																																																																																																						
集中ケア	2	2	2	3																																																																																																																																																																						
糖尿病看護	1	1	0	0																																																																																																																																																																						
がん放射線療法看護	1	1	1	1																																																																																																																																																																						
乳がん看護	1	1	1	1																																																																																																																																																																						
認定看護管理者	2	3	3	3																																																																																																																																																																						
慢性心不全	1	1	1	1																																																																																																																																																																						
緩和ケア	1	1	1	1																																																																																																																																																																						
認知症	2	2	2	2																																																																																																																																																																						
脳卒中リハビリテーション	1	1	1	1																																																																																																																																																																						
手術看護	1	2	2	2																																																																																																																																																																						
精神科看護	1	1	1	1																																																																																																																																																																						
計	31	32	33	32																																																																																																																																																																						
専門																																																																																																																																																																										
小児看護	2	2	2	2																																																																																																																																																																						
がん看護	1	1	0	1																																																																																																																																																																						
計	3	3	2	3																																																																																																																																																																						
特定																																																																																																																																																																										
創傷管理モデル	1	1	1	1																																																																																																																																																																						
術中麻酔管理モデル	2	3	4	5																																																																																																																																																																						
外科術後管理領域	0	2	6	9																																																																																																																																																																						
計	3	6	11	15																																																																																																																																																																						
認定遺伝カウンセラー	0	1	1	1																																																																																																																																																																						
合計	37	42	47	51																																																																																																																																																																						

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																												
		<p>○研修実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="4">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">認定看護師</td> <td colspan="4">【長期】</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・クリティカルケア</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【短期】 単位：人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> <td>2023</td> </tr> <tr> <td>認定看護管 理者 (1st)</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>認定看護管 理者 (2nd)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>認定看護管 理者 (3rd)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医療安全研 修</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		項目	内 容				認定看護師	【長期】				・クリティカルケア				【短期】 単位：人					2020	2021	2022	2023	認定看護管 理者 (1st)	0	4	2	8	認定看護管 理者 (2nd)	0	1	3	0	認定看護管 理者 (3rd)	0	1	0	1	医療安全研 修	2	3	4	2			
項目	内 容																																																
認定看護師	【長期】																																																
	・クリティカルケア																																																
	【短期】 単位：人																																																
		2020	2021	2022	2023																																												
	認定看護管 理者 (1st)	0	4	2	8																																												
	認定看護管 理者 (2nd)	0	1	3	0																																												
認定看護管 理者 (3rd)	0	1	0	1																																													
医療安全研 修	2	3	4	2																																													
		<p>学会等参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護学会 ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・研修会、セミナー ・その他 看護学会等 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加延べ数</td> <td>270</td> <td>224</td> <td>402</td> <td>163</td> </tr> </tbody> </table>			2020	2021	2022	2023	参加延べ数	270	224	402	163																																				
	2020	2021	2022	2023																																													
参加延べ数	270	224	402	163																																													
		<p>【コメディカル】</p> <p>・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。</p> <p>○専門研修への参加状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>246</td> <td>298</td> <td>300</td> <td>284</td> </tr> </tbody> </table>		項目／年度	2020	2021	2022	2023	薬剤師	246	298	300	284																																				
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																													
薬剤師	246	298	300	284																																													

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																															
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				自己 評価	評価 提案	意見																																													
		臨床検査 技師	中央検査部 病理部	32 20	37 30	100 38	128 41																																														
		臨床工学技士		4	9	12	27																																														
		リハビリ技師		42	31	52	53																																														
		管理栄養士		2	3	5	10																																														
		放射線技師		52	112	161	202																																														
		合計		398	520	668	745																																														
		<p>○主な専門研修・講習会等</p> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会 ・日本放射線治療セミナー ・日本核医学学術総会 ・日本磁気共鳴医学会 ・医学物理士ミニマム講習会 ・診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会 ・業務拡大に伴う統一講習会 ・PET 研修セミナー ・医療安全管理者養成研修会 ・画像等手術支援認定講習会 <p>※主な資格取得者数 (年度末) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アドバンス診療放射線技師</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>放射線被曝相談員</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>X線CT認定技師</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>放射線機器管理士</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>放射線管理士</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>医療情報技師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>第1種放射線取扱主</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>							資格名/年度	2020	2021	2022	2023	アドバンス診療放射線技師	3	4	5	5	放射線被曝相談員	1	1	1	2	X線CT認定技師	5	5	5	7	放射線機器管理士	3	3	5	11	放射線管理士	0	4	9	15	医療情報技師	-	-	1	4	検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	5	6	7	7	第1種放射線取扱主	2	3	4	5
資格名/年度	2020	2021	2022	2023																																																	
アドバンス診療放射線技師	3	4	5	5																																																	
放射線被曝相談員	1	1	1	2																																																	
X線CT認定技師	5	5	5	7																																																	
放射線機器管理士	3	3	5	11																																																	
放射線管理士	0	4	9	15																																																	
医療情報技師	-	-	1	4																																																	
検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	5	6	7	7																																																	
第1種放射線取扱主	2	3	4	5																																																	

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				自己 評価	評価 提案	意見																		
		<table border="1"> <tr> <td>任者</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>救急撮影認定技師</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>画像等手術支援認定 診療放射線技師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>医療画像情報精度管 理士</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> </table>	任者					救急撮影認定技師	2	3	3	4	画像等手術支援認定 診療放射線技師	-	-	-	2	医療画像情報精度管 理士	-	-	-	2				
任者																										
救急撮影認定技師	2	3	3	4																						
画像等手術支援認定 診療放射線技師	-	-	-	2																						
医療画像情報精度管 理士	-	-	-	2																						
		※2023年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・放射線被曝相談員 1人 ・X線CT認定技師 2人 ・放射線機器管理士 6人 ・放射線管理士 6人 ・医療情報技師 3人 ・第1種放射線取扱主任者 1人 ・救急撮影認定技師 1人 ・画像等手術支援認定診療放射線技師 2人 ・医療画像情報精度管理士 2人																								
		【中央検査部】 ・日本臨床衛生検査技師会 ・日本超音波医学会 ・日本超音波検査学会 ・日本臨床微生物学会 ・日本臨床検査医学会 ・日本輸血・細胞治療学会 ・日本心エコー図学会 ・日本検査血液学会 ・岐阜県病院協会医学会 ・タスクシフト・シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 ・病院中堅職員育成研修 ・日本臨床神経生理学学会 ・日本臨床一般検査学会 ・日本医療検査科学学会 ・岐阜県医学検査学会																								
		※主な資格取得者数（年度末） 単位：人																								
		<table border="1"> <tr> <td>資格名／年度</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> <td>2023</td> </tr> </table>	資格名／年度	2020	2021	2022	2023																			
資格名／年度	2020	2021	2022	2023																						

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証		
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				自己 評価	評価 提案	意見
		超音波検査士 (循環器)	8	8	7	8		
		超音波検査士 (消化器)	10	13	10	11		
		超音波検査士 (体表臓器)	3	4	3	3		
		超音波検査士 (泌尿器)	1	1	0	0		
		超音波検査士 (産婦人科)	1	1	1	0		
		超音波検査士 (血管)	1	1	1	2		
		血管診療技師	1	1	1	2		
		JHRS 認定心電図専門士	5	5	3	2		
		緊急臨床検査士	10	10	12	14		
		認定血液検査技師	2	2	3	3		
		認定微生物検査技師	1	2	2	2		
		認定輸血検査技師	1	1	1	1		
		認定心電図検査技師	2	2	2	2		
		認定一般検査技師	1	1	1	2		
		心臓リハビリテーション 指導士	2	2	2	2		
		2級臨床検査士(微生物)	3	5	6	6		
		2級臨床検査士(循環器)	3	3	2	2		
		2級臨床検査士(免疫血清)	0	0	1	1		
		感染制御認定微生物検査 技師 (ICMT)	1	2	2	2		
		医療安全管理者	1	2	1	3		
		臨床検査技師臨地実習指 導者	0	1	1	2		
		タスクシフト・シェアに関 する厚生労働大臣認定	0	0	30	49		
		POCT 測定認定士	0	0	1	1		
		遺伝子分析化学認定士	1	1	1	1		
		日本糖尿病療養指導士	1	1	1	1		
		有機溶剤作業主任者	3	3	4	4		
		岐阜県肝炎医療コーディネ ーター	0	1	1	1		

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																															
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				自己 評価	評価 提案	意見																													
		<table border="1"> <tr><td>ネータ</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>精度管理責任者</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>臨地実習指導者</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>品質管理検定</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>心電図検定2級</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>心電図検定3級</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> </table>	ネータ					精度管理責任者	0	0	1	2	臨地実習指導者	0	1	1	2	品質管理検定	0	0	0	1	心電図検定2級	0	0	0	1	心電図検定3級	0	0	0	1					
ネータ																																					
精度管理責任者	0	0	1	2																																	
臨地実習指導者	0	1	1	2																																	
品質管理検定	0	0	0	1																																	
心電図検定2級	0	0	0	1																																	
心電図検定3級	0	0	0	1																																	
		<p>※2023年度新規資格取得者（新規採用者も含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超音波検査士（循環器） 1人 ・超音波検査士（消化器） 1人 ・超音波検査士（血管） 1人 ・血管診療技師 1人 ・緊急臨床検査士 3人 ・認定一般検査技師 1人 ・医療安全管理者 2人 ・臨床検査技師臨地実習指導者 1人 ・タスクシフト・シェアに関する厚生労働大臣認定 21人 ・精度管理責任者 1人 ・臨地実習指導者 1人 ・品質管理検定 1人 ・心電図検定2級 1人 ・心電図検定3級 1人 																																			
		<p>【病理部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床衛生検査技師会 ・日本臨床細胞学会 ・認定病理検査技師講習会 <p>※主な資格取得者数（年度末） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定病理検査技師</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>細胞検査士</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>二級臨床検査士（病理学）</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>検体採取等の講習会修了者</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	資格名／年度	2020	2021	2022	2023	認定病理検査技師	3	6	6	7	細胞検査士	8	8	8	7	二級臨床検査士（病理学）	1	1	1	1	検体採取等の講習会修了者	6	6	6	8										
資格名／年度	2020	2021	2022	2023																																	
認定病理検査技師	3	6	6	7																																	
細胞検査士	8	8	8	7																																	
二級臨床検査士（病理学）	1	1	1	1																																	
検体採取等の講習会修了者	6	6	6	8																																	

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																			
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																																		
		※2023年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・認定病理検査技師 1人 ・検体採取等の講習会修了者 2人 【薬剤部】 ・日本医療薬学会年会 ・日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会 ・全日本自治体病院学会 ・日本麻酔科学会 周術期管理チームセミナー ・日本麻酔科学会 術後疼痛管理研修 ・岐阜県病院薬剤師会研修会 ・岐阜県病院協会医学会 ・東海薬剤師学術大会 ・日本小児臨床薬理学会 ・日本腎臓病薬物療法学会 ・日本緩和医療薬学会 ・日本病院会医療安全管理者養成講習会 ・感染制御専門薬剤師講習会 ・日本医薬品情報学会 ・成育医療研修会（薬剤師コース） ・がん専門薬剤師集中教育講座 ※主な資格取得者数（年度末）																																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染制御認定薬剤師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>抗菌化学療法認定薬剤師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>日病薬 病院薬学認定薬剤師</td> <td>21</td> <td>28</td> <td>27</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>がん専門薬剤師</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>がん指導薬剤師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和薬物療法認定薬剤師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>日本糖尿病療養指導士</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>周術期管理チーム認定薬剤師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>外来がん治療認定薬剤師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	資格名/年度	2020	2021	2022	2023	感染制御認定薬剤師	2	2	2	3	抗菌化学療法認定薬剤師	2	2	3	4	日病薬 病院薬学認定薬剤師	21	28	27	29	がん専門薬剤師	2	3	3	3	がん指導薬剤師	0	0	0	1	緩和薬物療法認定薬剤師	1	1	2	2	日本糖尿病療養指導士	5	5	5	4	周術期管理チーム認定薬剤師	2	2	2	3	外来がん治療認定薬剤師	1	1	2	1			
資格名/年度	2020	2021	2022	2023																																																			
感染制御認定薬剤師	2	2	2	3																																																			
抗菌化学療法認定薬剤師	2	2	3	4																																																			
日病薬 病院薬学認定薬剤師	21	28	27	29																																																			
がん専門薬剤師	2	3	3	3																																																			
がん指導薬剤師	0	0	0	1																																																			
緩和薬物療法認定薬剤師	1	1	2	2																																																			
日本糖尿病療養指導士	5	5	5	4																																																			
周術期管理チーム認定薬剤師	2	2	2	3																																																			
外来がん治療認定薬剤師	1	1	2	1																																																			

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証		
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				自己 評価	評価 提案	意見
		腎臓病薬物療法認定薬剤師	0	0	1	1		
		腎臓病療養指導士	2	2	2	2		
		小児薬物療法認定薬剤師	2	2	2	2		
		救急認定薬剤師	1	1	1	2		
		NST 専門療法士	1	1	2	2		
		心不全療養指導士	1	1	1	1		
		※2023年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・感染制御認定薬剤師 1人 ・抗菌化学療法認定薬剤師 1人 ・日病薬 病院薬学認定薬剤師 4人 ・がん指導薬剤師 1人 ・周術期管理チーム薬剤師 1人 ・小児薬物療法認定薬剤師 1人 ・救急認定薬剤師 1人						
		【中央リハビリテーション部】 ・日本ハンドセラピー学会 ・日本理学療法学会 ・日本集中治療医学会 ・日本呼吸ケアリハビリテーション学会 ・日本心臓リハビリテーション学会						
		※主な資格取得者数（年度末） 単位：人						
		資格名／年度	2020	2021	2022	2023		
		3学会合同呼吸療法認定士	25	29	33	33		
		心臓リハビリテーション指導士	3	6	7	6		
		認定理学療法士	4	8	8	7		
		心不全療養指導士	1	4	4	4		
		日本糖尿病療養指導士	1	1	0	0		
		日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	1	1	1	1		
		LSVT®資格認定	1	1	2	2		

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																		
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				自己 評価	評価 提案	意見																																
		<table border="1"> <tr> <td>公認心理師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>	公認心理師	0	0	1	1																																	
公認心理師	0	0	1	1																																				
		※2023年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・3学会合同呼吸療法認定士 2人																																						
		【栄養部】 <ul style="list-style-type: none"> ・全国自治体病院学会 ・岐阜県病院協会医学会 ・日本心臓リハビリ学会学術集会 ・日本臨床栄養代謝学会 ・日本病態栄養学会年次学術集会 ・がん専門管理栄養士セミナー ※主な資格取得者数（年度末） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NST 専門療法士</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>糖尿病療養指導士</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>病態栄養専門管理栄養士</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>がん病態栄養専門管理栄養士</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリテーション指導士</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>アレルギー疾患療養指導士</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	資格名／年度	2020	2021	2022	2023	NST 専門療法士	3	4	5	5	糖尿病療養指導士	5	5	5	5	病態栄養専門管理栄養士	4	4	4	4	がん病態栄養専門管理栄養士	2	2	2	2	心臓リハビリテーション指導士	1	1	1	1	アレルギー疾患療養指導士	0	2	2	2			
資格名／年度	2020	2021	2022	2023																																				
NST 専門療法士	3	4	5	5																																				
糖尿病療養指導士	5	5	5	5																																				
病態栄養専門管理栄養士	4	4	4	4																																				
がん病態栄養専門管理栄養士	2	2	2	2																																				
心臓リハビリテーション指導士	1	1	1	1																																				
アレルギー疾患療養指導士	0	2	2	2																																				
		※2023年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・特になし																																						
		【臨床工学部】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床工学技士会 ・岐阜県臨床工学技士会セミナー ・岐阜県臨床工学技士会学術大会 ・医療機器安全基礎講習会（ME技術講習会） ・透析液安全管理責任者セミナー ・日本人工臓器学会教育セミナー ※主な資格取得者数（年度末） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	資格名／年度	2020	2021	2022	2023																																	
資格名／年度	2020	2021	2022	2023																																				

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証			
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				自己 評価	評価 提案	意見	
		体外循環技術認定士	5	5	5	5			
		透析技術認定士	4	4	5	5			
		呼吸療法認定士	4	6	6	5			
		不整脈治療関連専門臨床 工学技士	0	1	1	1			
		認定集中治療関連臨床工 学技士	0	2	3	3			
		植込み型心臓デバイス認 定士	0	1	1	1			
		心血管インターベンショ ン技師	0	5	6	6			
		第一種ME 技術者	0	1	1	1			
		医療機器情報コミュニケ ーター (MDIC)	1	2	2	2			
		認定ホスピタルエンジニ ア	1	1	1	1			
		ICLS 認定インストラク ター	1	1	1	1			
		AHA-BLS プロバイダーコー ース	4	4	4	4			
		AHA-ACLS プロバイダーコ ース	4	4	4	4			
		心・血管カテーテル関連専 門臨床工学技士	0	0	0	1			
		※2023 年度新規資格取得者 (新規採用者も含む) ・心・血管カテーテル関連専門臨床工学技士 1人							

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																															
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																														
		<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本医療ソーシャルワーカー協会 ・岐阜県ソーシャルワーカー協会 ・日本社会福祉士会 ・岐阜県社会福祉士会 ・救急認定ソーシャルワーカー認定機構 <p>※主な資格取得者数（年度末） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん相談支援センター相談員基礎研修1・2</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>がん相談支援センター相談員基礎研修3</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>救急認定ソーシャルワーカー</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>肝炎医療コーディネーター</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>医療メディエーター</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2023年度新規資格取得者（新規採用者も含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センター相談員基礎研修1・2 3人 ・肝炎医療コーディネーター 3人 ・医療メディエーター 2人 <p>4 高度先端医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度先端医療など新しい医療技術を実施するため、新たに下記の施設認定を取得した。 <p><施設認定名称></p> <ul style="list-style-type: none"> 集中治療専門医研修施設 NIPTに関する基幹施設 認定臨床微生物検査技師研修施設 遺伝性乳癌卵巣癌総合診療施設（協力施設） <ul style="list-style-type: none"> ・外科系学会社会保険委員会連合が指定した高難度手術（D、E難度）や遺伝子検査を積極的に実施し、高度先端医療を推進した。 	資格名/年度	2020	2021	2022	2023	がん相談支援センター相談員基礎研修1・2	9	10	10	13	がん相談支援センター相談員基礎研修3	5	5	6	6	救急認定ソーシャルワーカー	0	1	1	1	肝炎医療コーディネーター	6	8	8	11	医療メディエーター	2	2	2	4			
資格名/年度	2020	2021	2022	2023																															
がん相談支援センター相談員基礎研修1・2	9	10	10	13																															
がん相談支援センター相談員基礎研修3	5	5	6	6																															
救急認定ソーシャルワーカー	0	1	1	1																															
肝炎医療コーディネーター	6	8	8	11																															
医療メディエーター	2	2	2	4																															

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																																							
		<p>○高度先端医療の実施状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D, E 難度手術実施数</td> <td>4, 850</td> <td>5, 263</td> <td>5, 149</td> <td>5, 437</td> </tr> <tr> <td>遺伝子検査実施数</td> <td>653</td> <td>767</td> <td>866</td> <td>883</td> </tr> </tbody> </table> <p>※遺伝子検査：D006-2～20、D006-22～28に該当する検査</p> <p>5 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することにより、治療やケアに当たることができた。 <p><主な医療チーム></p> <p>ICT、緩和ケアチーム、呼吸器ケアチーム、褥瘡ケアチーム、 口腔ケアチーム、NST、摂食嚥下チーム、認知症ケアチーム、AST、早期離床リハビリテーションチーム、心不全チーム、排尿自立ケアチーム、術後疼痛管理チーム</p> <p>○各種チーム加算算定数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア診療加算</td> <td>1, 221</td> <td>1, 148</td> <td>1, 406</td> <td>1, 783</td> </tr> <tr> <td>呼吸ケアチーム加算</td> <td>16</td> <td>26</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>褥瘡ハリス患者ケア加算</td> <td>2, 101</td> <td>2, 545</td> <td>2, 442</td> <td>1, 738</td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム加算</td> <td>951</td> <td>988</td> <td>892</td> <td>1, 086</td> </tr> <tr> <td>認知症ケア加算</td> <td>1, 176</td> <td>1, 331</td> <td>1, 292</td> <td>986</td> </tr> <tr> <td>早期離床リハビリテーション加算</td> <td>999</td> <td>1, 313</td> <td>1, 347</td> <td>1, 224</td> </tr> <tr> <td>術後疼痛管理チーム加算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>395</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度及び2018年度に整備した遠隔画像コンサルテーションシステムを積極的に活用し、準夜帯及び深夜帯の院内専門医不在時における画像コンサルテーションを、外部の放射線専門医に依頼することにより、安全か 	項目／年度	2020	2021	2022	2023	D, E 難度手術実施数	4, 850	5, 263	5, 149	5, 437	遺伝子検査実施数	653	767	866	883	項目／年度	2020	2021	2022	2023	緩和ケア診療加算	1, 221	1, 148	1, 406	1, 783	呼吸ケアチーム加算	16	26	7	4	褥瘡ハリス患者ケア加算	2, 101	2, 545	2, 442	1, 738	栄養サポートチーム加算	951	988	892	1, 086	認知症ケア加算	1, 176	1, 331	1, 292	986	早期離床リハビリテーション加算	999	1, 313	1, 347	1, 224	術後疼痛管理チーム加算	0	0	0	395			
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																																								
D, E 難度手術実施数	4, 850	5, 263	5, 149	5, 437																																																								
遺伝子検査実施数	653	767	866	883																																																								
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																																								
緩和ケア診療加算	1, 221	1, 148	1, 406	1, 783																																																								
呼吸ケアチーム加算	16	26	7	4																																																								
褥瘡ハリス患者ケア加算	2, 101	2, 545	2, 442	1, 738																																																								
栄養サポートチーム加算	951	988	892	1, 086																																																								
認知症ケア加算	1, 176	1, 331	1, 292	986																																																								
早期離床リハビリテーション加算	999	1, 313	1, 347	1, 224																																																								
術後疼痛管理チーム加算	0	0	0	395																																																								

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																								
		<p>つ質の高い医療を提供した。2023年度は3,518件のCT・MRI検査画像のコンサルテーション依頼を行った。</p> <p>○救急の外部コンサルテーション依頼数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>3,091</td> <td>3,271</td> <td>3,321</td> <td>3,203</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>412</td> <td>372</td> <td>390</td> <td>315</td> </tr> </tbody> </table> <p>・電子カルテシステム等の更新に合わせて導入した放射線画像AI診断システムについて、胸部X線画像において全診療科での活用を実施し、医師の負担軽減および質の高い医療の提供を実現した。</p> <p>7 入退院支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象診療科については、2023年9月から消化器内科、2024年3月から循環器内科の運用を開始し、12診療科から14診療科まで拡大した。 ・入院支援から退院支援への情報共有を図り、患者に継続した支援が実施できるように業務改善した。 ・退院支援における患者支援の方法も検討し、安心して退院できるよう業務改善した。予定入院する患者の入院当日の面談、入院支援室看護師からの事前の情報共有、病棟カンファレンスへの入院支援室・退院支援室・外来看護師の参加、さらに緊急入院となった患者への面談を確実に実施するようにした。 ・新生児特定集中治療室に入院した患者に対する入退院支援に関する評価である入退院支援加算3を算定する体制を整えた。 <p>○入退院支援業務の実施状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院時支援介入数</td> <td>879</td> <td>2,706</td> <td>3,472</td> <td>3,601</td> </tr> <tr> <td>入退院支援加算1 算定数</td> <td>2,208</td> <td>2,897</td> <td>3,906</td> <td>6,116</td> </tr> <tr> <td>入院時支援加算 算定数</td> <td>162</td> <td>302</td> <td>1,262</td> <td>1,984</td> </tr> <tr> <td>入退院支援加算3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2020	2021	2022	2023	CT	3,091	3,271	3,321	3,203	MRI	412	372	390	315	項目／年度	2020	2021	2022	2023	入院時支援介入数	879	2,706	3,472	3,601	入退院支援加算1 算定数	2,208	2,897	3,906	6,116	入院時支援加算 算定数	162	302	1,262	1,984	入退院支援加算3	—	—	—	36			
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																									
CT	3,091	3,271	3,321	3,203																																									
MRI	412	372	390	315																																									
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																									
入院時支援介入数	879	2,706	3,472	3,601																																									
入退院支援加算1 算定数	2,208	2,897	3,906	6,116																																									
入院時支援加算 算定数	162	302	1,262	1,984																																									
入退院支援加算3	—	—	—	36																																									

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見												
02	<p>1 待ち時間の改善等 当院における急性期治療から脱した患者に対する他の医療機関への逆紹介の推進や予約枠の均等配分等により、外来機能のスリム化及び平準化を図るとともに、ドクターズアシスタント（医師事務作業補助者）等スタッフの適正な配置並びに2023年1月に新たに導入された患者向け通院支援アプリの普及により、診療及び検査等の業務の効率化と迅速化を図ることで診察待ち時間の短縮に努める。</p> <p>また、業務の見直しや医療機器の更新等による検査（採血、心電図、超音波等）の効率的な実施やキャッシュレス決済等による支払手法の拡大等により、検査や会計待ち時間の改善を図る。</p> <p>さらに、待ち時間の実態調査（患者満足度調査「年1回」及びシステムによる調査「年4回」）や系統的な確認を継続的に実施し、患者からの意見・要望に対して、各部署において改善計画を立案し、積極的に取り組むことで平均待ち時間の短縮を図る。</p> <p>3 医療に関する相談体制の充実 外来初診受付付近に患者に分かりやすい相談窓口を設け、相談担当者が対応する。相談内容に応じて関係部署との連携を図り、診療内容、在宅支援、苦情、就労支援をはじめあらゆる相談に迅速に対応可能な体制を整える。</p> <p>また、毎週カンファレンスを開催し、問題事項についてスタッフ間で協議、共有する。</p> <p>4 外国人に配慮した受診支援 外国人の対応については、常勤の医療通訳の配置を継続するほか、院内の外国語表示の充実、タブレット端末や電話による医療通訳の活用、医療に関する各種書類等の外国語対応を行い、外国人患者が安心して受診できる体制を整備する。</p>	<p>1 待ち時間の改善等 <外来部門></p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査・診察・治療を患者に合わせたきめ細かい対応を行うことにより、院内滞在時間の縮減を図る取組を継続した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・検査が必要な患者に対しては検査を先に実施 ・看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施 ・入院患者に対する説明の一元化 ・病診連携による紹介患者については、診察予約時間30分以内の診察を徹底 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間の有効活用に向けた取組を継続した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに導入した患者向け通院支援アプリにより、診察待ち時間の負担を軽減 ・待ち時間に待合場所を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを実施 ・診療科に即したパンフレットや図書を配置 </div> <p>・患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回実施し、状況の把握に努めた。調査の結果、患者満足度調査では待ち時間がやや長くなっているが、システムによる調査は待ち時間は減る傾向となった。2023年1月に更新された電子カルテに慣れていた点はあるものの、新しい案内表示などが待ち時間の減少に寄与したものと思われる。</p> <p>○患者満足度調査による平均待ち時間 単位：分</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> <td>2023</td> </tr> <tr> <td>32</td> <td>36</td> <td>38</td> <td>39</td> </tr> </table> <p>※予約時刻と実際の診療開始時刻までの時間</p> <p>○システムによる待ち時間別患者構成率 単位：%</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>年月/待ち時間</td> <td>～30分</td> <td>30～2時間</td> <td>2時間～</td> </tr> </table>	2020	2021	2022	2023	32	36	38	39	年月/待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～	IV		<p>アンケート調査はどの程度の誤差を取るかを決めたいうえで必要なサンプルサイズを決定して行うべき。患者対応は改善していると思われるが、待ち時間の長さが解消されたとは、住民感覚として言えないのではないかと。患者向け通院支援アプリは興味深い。</p>
2020	2021	2022	2023														
32	36	38	39														
年月/待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～														

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																											
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 			自己 評価	評価 提案	意見																																									
		2021.1	51.4	43.5	5.2																																											
		2022.1	43.9	46.9	9.2																																											
		2023.1	46.6	46.2	7.2																																											
		2024.1	59.8	35.4	4.7																																											
		<p><中央検査部門></p> <ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間の短縮を図るため、採血開始時間を8時とする取組を継続するとともに、第2採血室にて全体の3割の採血を実施した。 2020 : 6ブース → 2021～ : 9ブース ・超音波検査（生理検査部門）では、COVID-19の影響の継続により対象患者数が減少していたが、2022年から2023年はほぼ横ばい、技師数は2023年に4名増員（経験者2名増員、担当異動1名、10月より中央放射線部から1名増員）、1名退職により3名増加となったことで、待ち時間が解消された。 <p>○超音波検査待ち時間の推移（カッコ内の数字は技師数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>総数</th> <th>60分未満</th> <th>～90分</th> <th>90分超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020 (13)</td> <td>25,430件</td> <td>93.3%</td> <td>5.7%</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>2021 (12)</td> <td>24,906件</td> <td>94.7%</td> <td>4.6%</td> <td>0.7%</td> </tr> <tr> <td>2022 (10)</td> <td>24,428件</td> <td>85.4%</td> <td>12.0%</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>2023 (13)</td> <td>23,704件</td> <td>96.7%</td> <td>3.0%</td> <td>0.3%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・外来超音波は前年とほぼ同程度であった。心臓超音波が依然として多く、循環器の医師と相談し、超音波検査室外で実施する特殊検査を午後に集約し、検査室内の午前中の人員を確保すること及び人員増加により対応した。 <p>○超音波検査件数（外来分） 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数</td> <td>18,860</td> <td>19,828</td> <td>18,250</td> <td>18,227</td> </tr> <tr> <td>うち心臓超音波</td> <td>5,477</td> <td>5,832</td> <td>5,729</td> <td>5,863</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日にカンファレンスを開催し、医療相談に係る問題事項についての 					年度/項目	総数	60分未満	～90分	90分超	2020 (13)	25,430件	93.3%	5.7%	1.0%	2021 (12)	24,906件	94.7%	4.6%	0.7%	2022 (10)	24,428件	85.4%	12.0%	2.6%	2023 (13)	23,704件	96.7%	3.0%	0.3%	項目/年度	2020	2021	2022	2023	総数	18,860	19,828	18,250	18,227	うち心臓超音波	5,477	5,832	5,729	5,863		
年度/項目	総数	60分未満	～90分	90分超																																												
2020 (13)	25,430件	93.3%	5.7%	1.0%																																												
2021 (12)	24,906件	94.7%	4.6%	0.7%																																												
2022 (10)	24,428件	85.4%	12.0%	2.6%																																												
2023 (13)	23,704件	96.7%	3.0%	0.3%																																												
項目/年度	2020	2021	2022	2023																																												
総数	18,860	19,828	18,250	18,227																																												
うち心臓超音波	5,477	5,832	5,729	5,863																																												

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																											
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																																										
		<p>協議を行った。患者等からの苦情については主治医や関係職種との情報共有を行い対応した。</p> <p>○カンファレンスで協議した事項及び件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院の環境</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>患者等からの相談</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>患者相談対応力向上のための事例検討</td> <td>28</td> <td>32</td> <td>36</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>患者等からの苦情</td> <td>44</td> <td>37</td> <td>44</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>17</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全体の医療相談件数はやや減少しているが、外来及び入院後の相談があり、高齢化に伴い独居や生活保護などの福祉相談が増加した。また、入退院支援加算算定数増加の取り組みにより入院後7日以内の相談件数が増加した。</p> <p>○医療相談件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20,368</td> <td>21,536</td> <td>22,036</td> <td>21,439</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 外国人に配慮した受診支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COVID-19の影響により派遣が中断されていた通訳ボランティアは2022年4月から再開された。 ・外国人の受診を支援するため、ボランティア及び職員による対応を引き続き行った。 ・タブレット端末を用いた医療通訳の活用により、職員の対応件数はやや減少した。 <p>○医療通訳病院職員対応件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国語</td> <td>294</td> <td>259</td> <td>167</td> <td>176</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>399</td> <td>507</td> <td>533</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td>ポルトガル語</td> <td>241</td> <td>214</td> <td>181</td> <td>169</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2020	2021	2022	2023	病院の環境	3	0	0	0	患者等からの相談	5	4	4	6	患者相談対応力向上のための事例検討	28	32	36	31	患者等からの苦情	44	37	44	83	その他	17	1	5	15	2020	2021	2022	2023	20,368	21,536	22,036	21,439	項目／年度	2020	2021	2022	2023	中国語	294	259	167	176	英語	399	507	533	410	ポルトガル語	241	214	181	169			
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																																											
病院の環境	3	0	0	0																																																											
患者等からの相談	5	4	4	6																																																											
患者相談対応力向上のための事例検討	28	32	36	31																																																											
患者等からの苦情	44	37	44	83																																																											
その他	17	1	5	15																																																											
2020	2021	2022	2023																																																												
20,368	21,536	22,036	21,439																																																												
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																																											
中国語	294	259	167	176																																																											
英語	399	507	533	410																																																											
ポルトガル語	241	214	181	169																																																											

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																																																														
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				自己 評価	評価 提案	意見																																																																																												
		<table border="1"> <tr> <td>スペイン語</td> <td>102</td> <td>51</td> <td>59</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>62</td> <td>53</td> <td>44</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,098</td> <td>1,084</td> <td>984</td> <td>862</td> </tr> </table> <p>○医療通訳ボランティア派遣依頼件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポルトガル語</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>36</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>タガログ語</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>47</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> <p>・電話による通訳サービスを継続し、通訳担当職員不在時（夜間休日）などにも対応できるよう努めた。</p> <p>○電話通訳サービス利用件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポルトガル語</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>タガログ語</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ベトナム語</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>スペイン語</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>タイ語</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>9</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>ミャンマー語</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>13</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>インドネシア語</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17</td> <td>38</td> <td>36</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医療に関する各種書類については、説明書等の文書や患者の診断書の翻訳版を提供することで、外国人患者が安心して受診できる体制の構築に努めた。今年度は、初診時に使用する問診票について英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、タガログ語に翻訳したものを作成した。</p>	スペイン語	102	51	59	55	その他	62	53	44	52	合計	1,098	1,084	984	862	項目／年度	2020	2021	2022	2023	ポルトガル語	2	0	36	57	中国語	0	0	0	0	タガログ語	0	0	11	5	合計	2	0	47	62	項目／年度	2020	2021	2022	2023	ポルトガル語	9	11	3	0	中国語	0	0	0	0	タガログ語	1	5	2	0	ベトナム語	6	2	7	0	英語	1	0	0	1	スペイン語	0	0	0	0	タイ語	0	20	9	6	ミャンマー語	0	0	13	3	インドネシア語	0	0	2	0	合計	17	38	36	10			
スペイン語	102	51	59	55																																																																																																
その他	62	53	44	52																																																																																																
合計	1,098	1,084	984	862																																																																																																
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																																																																																
ポルトガル語	2	0	36	57																																																																																																
中国語	0	0	0	0																																																																																																
タガログ語	0	0	11	5																																																																																																
合計	2	0	47	62																																																																																																
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																																																																																
ポルトガル語	9	11	3	0																																																																																																
中国語	0	0	0	0																																																																																																
タガログ語	1	5	2	0																																																																																																
ベトナム語	6	2	7	0																																																																																																
英語	1	0	0	1																																																																																																
スペイン語	0	0	0	0																																																																																																
タイ語	0	20	9	6																																																																																																
ミャンマー語	0	0	13	3																																																																																																
インドネシア語	0	0	2	0																																																																																																
合計	17	38	36	10																																																																																																

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見
03	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>患者動向、医療需要の変化及び医療の進歩に対応するため、診療科や専門外来の新設等、患者ニーズに対応したきめ細やかな診療体制の充実を図る。</p>	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>・患者動向や医療需要の変化に対応した組織改編等に積極的に取り組んだことにより、患者に対してよりきめ細やかなサービスを提供することができた。新たな診療部門の設置や需要に対応するため医療支援部門の新設・再編等、将来を見据えた診療体制の充実を図った。</p> <p>○組織・診療科等の新設等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【診療部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線治療部の新設 <p>【医療支援部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超音波検査部超音波検査担当の新設 </div>	IV		
04	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上</p> <p>当センターと地域医療機関がそれぞれの特性を生かしながら機能分担し、患者が病状に即した医療を受診できるよう地域全体で協力し、ケアしていくため、「地域医療支援病院」として、紹介率の維持・向上（75%以上）及び逆紹介率の維持・向上（95%以上）を目指すことで、地域の医療機関との連携及び協力体制のさらなる充実を図る。</p> <p>また、地域の各医療機関への積極的な訪問や予約システムの拡充により、開放型病床登録医療機関及び登録医師数のさらなる拡大や紹介患者数の増加を目指し、「病病連携」や「病診連携」をさらに推進する。</p>		III		<p>転院先紹介先について、できる限り照会元に戻していただきたい。</p>
05	<p>1 救急医療</p> <p>岐阜圏域の救命救急センターとして、救命救急センター運営マニュアルに基づき、循環器系疾患、外傷をはじめ、指肢切断、急性薬物中毒などの特殊な症例を含め全ての救急疾患（精神科疾患を除く）に対し全診療科が対応し、二次・三次救急患者を24時間体制で受け入れ、安心して受診できる</p>	<p>1 救急医療</p> <p>・岐阜圏域の救命救急センターとして、精神科疾患を除くすべての救急疾患に対し全診療科が対応、当センターでの救急医療の完結を目指し、二次・三次救急患者を24時間体制で受け入れた。</p> <p>・受入体制について、外来については、内科系、外科系、小児科系の医師による24時間体制としたほか、入院については、主治医制で対応した。一方、臨</p>	IV		<p>救急車の受け入れが過去最高となり、救急医療への取組は素晴らしい。</p>

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																																																																
	<p>体制を確保し、更なる救命救急センター機能の強化と充実を図り、「断らない医療」を目指す。</p> <p>3 周産期医療 総合周産期部（産科・胎児診療科）と新生児医療部（新生児内科）を基幹として、出生前診断・胎児治療を含め各科の枠を超えた母とこどもの総合的な高度医療を提供する。 各部門では、重症妊産婦や超早産児をはじめとして他施設では対応困難な症例に対して、専用のドクターカー（すこやか号）やドクターヘリ等による母体搬送や新生児搬送を24時間体制で受け入れ、後遺症なき発育を目指す。 県下全域に影響が危惧される事案が発生した場合には、県及び岐阜県周産期医療協議会等へ報告するとともに連携し協力体制を整える。</p> <p>4 がん医療 地域がん診療連携拠点病院として各部署の機能を一層充実させ、院内がん登録数、がん相談件数等を増加させる。地域の患者と医療機関からの信頼を得るべく、あらゆる病期のがん患者に対して、診療ガイドラインに基づいた良質な医療を提供する。 若年世代のがん患者が増加していることから、就学や就労、生殖機能の温存等のニーズに対応できるように近隣の病院や専門施設との連携を強化する。 最新技術を用いて、がんの早期診断、早期治療に努めるとともに、進行がん患者に 対しては、集学的治療により、さらなる治療成績の向上を図る。ロボット手術の保険収載術式の拡大に伴い、各診療科においても、先進的低侵襲治療を積極的に展開させる。 ゲノム医療については、がんゲノム医療中核拠</p>	<p>床検査や放射線検査については、常時、検査可能とし、救急関係診療科の24時間呼び出しにより、緊急手術に常時対応できる体制を確保した。また、麻酔科医、産婦人科医等専門診療科医については、オンコール体制での対応を行った。</p> <p>○病床利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延入院患者数（単位：人）</td> <td>6,360</td> <td>7,708</td> <td>8,304</td> <td>7,795</td> </tr> <tr> <td>病床利用率（単位：％）</td> <td>58.1</td> <td>70.4</td> <td>75.8</td> <td>71.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○救急車受入状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車受入件数</td> <td>4,705</td> <td>5,327</td> <td>6,014</td> <td>6,285</td> </tr> <tr> <td>一日平均件数</td> <td>12.9</td> <td>14.6</td> <td>16.5</td> <td>17.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>○救急外来患者（診療科別：上位のみ） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>2,831</td> <td>3,945</td> <td>4,672</td> <td>5,483</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>2,237</td> <td>2,449</td> <td>2,593</td> <td>2,659</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>2,096</td> <td>2,051</td> <td>2,072</td> <td>2,414</td> </tr> <tr> <td>総合診療科</td> <td>2,827</td> <td>2,975</td> <td>3,121</td> <td>3,290</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>1,236</td> <td>1,215</td> <td>1,160</td> <td>863</td> </tr> <tr> <td>循環器内科</td> <td>1,482</td> <td>1,764</td> <td>1,765</td> <td>1,668</td> </tr> <tr> <td>脳神経内科</td> <td>1,107</td> <td>1,185</td> <td>1,436</td> <td>1,295</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,583</td> <td>5,758</td> <td>6,236</td> <td>6,397</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,399</td> <td>21,342</td> <td>23,055</td> <td>24,069</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 周産期医療 ＜総合周産期センターの運営＞ ・新生児センター機能とハイリスクの妊産婦等の医療機能などの統合を継続し、産婦人科と小児科の枠を超えた高度医療を提供した。特に、合併症妊娠</p>	項目/年度	2020	2021	2022	2023	延入院患者数（単位：人）	6,360	7,708	8,304	7,795	病床利用率（単位：％）	58.1	70.4	75.8	71.0	項目/年度	2020	2021	2022	2023	救急車受入件数	4,705	5,327	6,014	6,285	一日平均件数	12.9	14.6	16.5	17.2	項目/年度	2020	2021	2022	2023	小児科	2,831	3,945	4,672	5,483	消化器内科	2,237	2,449	2,593	2,659	整形外科	2,096	2,051	2,072	2,414	総合診療科	2,827	2,975	3,121	3,290	外科	1,236	1,215	1,160	863	循環器内科	1,482	1,764	1,765	1,668	脳神経内科	1,107	1,185	1,436	1,295	その他	5,583	5,758	6,236	6,397	合計	19,399	21,342	23,055	24,069			
項目/年度	2020	2021	2022	2023																																																																																	
延入院患者数（単位：人）	6,360	7,708	8,304	7,795																																																																																	
病床利用率（単位：％）	58.1	70.4	75.8	71.0																																																																																	
項目/年度	2020	2021	2022	2023																																																																																	
救急車受入件数	4,705	5,327	6,014	6,285																																																																																	
一日平均件数	12.9	14.6	16.5	17.2																																																																																	
項目/年度	2020	2021	2022	2023																																																																																	
小児科	2,831	3,945	4,672	5,483																																																																																	
消化器内科	2,237	2,449	2,593	2,659																																																																																	
整形外科	2,096	2,051	2,072	2,414																																																																																	
総合診療科	2,827	2,975	3,121	3,290																																																																																	
外科	1,236	1,215	1,160	863																																																																																	
循環器内科	1,482	1,764	1,765	1,668																																																																																	
脳神経内科	1,107	1,185	1,436	1,295																																																																																	
その他	5,583	5,758	6,236	6,397																																																																																	
合計	19,399	21,342	23,055	24,069																																																																																	

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																																																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																																																																																																			
	<p>点病院である名古屋大学医学部附属病院と連携し、遺伝子変異に基づいた個別化治療につなげるためのがん遺伝子パネル検査を推進する。</p> <p>5大がん地域連携パスを活用して、一層緊密な病診連携を推進する。治療方針に苦慮する症例については、カンサーボードに提示し、全科的な検討の上、当センターとしての治療方針を決定する。</p> <p>化学療法部門では、快適な環境下で多職種スタッフが関わり、安全で質の高い化学療法ができるように運営する。</p> <p>緩和ケア部門では、がん患者の外来・入院時のスクリーニングを推進し、緩和ケアチームが積極的に関われる体制を強化する。また、緩和ケア外来、がん看護外来及び緩和ケア病床の充実を図るとともに、緩和ケアの患者がいつでも緊急入院できる体制を整える。</p> <p>地域連携カンファレンスや診療所訪問などを通じて、顔の見える病診連携を進め、在宅緩和ケアなど患者の希望に沿った切れ目のない緩和ケアを展開する。</p> <p>がん相談支援部門では、患者のニーズを踏まえたがん患者及びその家族の在宅医療支援や就労支援に力を入れ、利用者数の増加を図っていく。</p>	<p>や異常妊娠、多胎妊娠、産褥異常、胎児異常等の患者の診療を行った。</p> <p>・当センターを受診されている妊婦だけではなく、緊急母体搬送で送られてくるハイリスク妊婦を24時間体制で受け入れた。</p> <p>○母体搬送の受入件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送</td> <td>75(2)</td> <td>143(1)</td> <td>147(0)</td> <td>143(3)</td> </tr> <tr> <td>救急搬送</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()はヘリコプター搬送《内数》</p> <p>○産科合併症 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>早産</td> <td>117</td> <td>106</td> <td>95</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>HDP(妊娠高血圧症候群)</td> <td>36</td> <td>34</td> <td>31</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>常位胎盤・早期剥離</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>胎盤位置異常</td> <td>53</td> <td>50</td> <td>28</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>羊水の異常</td> <td>80</td> <td>84</td> <td>52</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>胎児異常</td> <td>77</td> <td>115</td> <td>101</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>FGR(胎児発育不全)</td> <td>43</td> <td>53</td> <td>51</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>○合併症妊娠 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婦人科系疾患</td> <td>117</td> <td>132</td> <td>157</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>心・血管疾患</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>血液疾患</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>腎疾患</td> <td>9</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>糖尿病・妊娠性糖尿病</td> <td>39</td> <td>43</td> <td>36</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>甲状腺疾患</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>59</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>自己免疫・膠原病</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>呼吸器疾患</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>19</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>消化器疾患</td> <td>3</td> <td>22</td> <td>9</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>精神・神経系</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>6</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>運動機能系</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	2023	母体搬送	75(2)	143(1)	147(0)	143(3)	救急搬送	6	10	3	7	項目/年度	2020	2021	2022	2023	早産	117	106	95	140	HDP(妊娠高血圧症候群)	36	34	31	18	常位胎盤・早期剥離	5	12	6	5	胎盤位置異常	53	50	28	29	羊水の異常	80	84	52	34	胎児異常	77	115	101	92	FGR(胎児発育不全)	43	53	51	33	項目/年度	2020	2021	2022	2023	婦人科系疾患	117	132	157	153	心・血管疾患	9	8	10	22	血液疾患	1	8	9	4	腎疾患	9	14	13	13	糖尿病・妊娠性糖尿病	39	43	36	49	甲状腺疾患	35	38	59	37	自己免疫・膠原病	9	5	3	6	呼吸器疾患	8	13	19	26	消化器疾患	3	22	9	13	精神・神経系	11	14	6	27	運動機能系	0	0	0	0			
項目/年度	2020	2021	2022	2023																																																																																																																				
母体搬送	75(2)	143(1)	147(0)	143(3)																																																																																																																				
救急搬送	6	10	3	7																																																																																																																				
項目/年度	2020	2021	2022	2023																																																																																																																				
早産	117	106	95	140																																																																																																																				
HDP(妊娠高血圧症候群)	36	34	31	18																																																																																																																				
常位胎盤・早期剥離	5	12	6	5																																																																																																																				
胎盤位置異常	53	50	28	29																																																																																																																				
羊水の異常	80	84	52	34																																																																																																																				
胎児異常	77	115	101	92																																																																																																																				
FGR(胎児発育不全)	43	53	51	33																																																																																																																				
項目/年度	2020	2021	2022	2023																																																																																																																				
婦人科系疾患	117	132	157	153																																																																																																																				
心・血管疾患	9	8	10	22																																																																																																																				
血液疾患	1	8	9	4																																																																																																																				
腎疾患	9	14	13	13																																																																																																																				
糖尿病・妊娠性糖尿病	39	43	36	49																																																																																																																				
甲状腺疾患	35	38	59	37																																																																																																																				
自己免疫・膠原病	9	5	3	6																																																																																																																				
呼吸器疾患	8	13	19	26																																																																																																																				
消化器疾患	3	22	9	13																																																																																																																				
精神・神経系	11	14	6	27																																																																																																																				
運動機能系	0	0	0	0																																																																																																																				

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																																																																
		<p>○ハイリスク妊婦・分娩等 (対象者) 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合周産期加算</td> <td>307</td> <td>335</td> <td>291</td> <td>310</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊娠</td> <td>209</td> <td>254</td> <td>264</td> <td>287</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク分娩</td> <td>91</td> <td>128</td> <td>109</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>救急加算</td> <td>156</td> <td>149</td> <td>148</td> <td>148</td> </tr> </tbody> </table> <p>○保健指導実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健指導</td> <td>1,224</td> <td>1,177</td> <td>1,131</td> <td>1,167</td> </tr> <tr> <td>母乳相談</td> <td>114</td> <td>113</td> <td>96</td> <td>92</td> </tr> </tbody> </table> <p><新生児医療センターの運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・超低出生体重児が前年度24名から31名と29%増加した。 ・軽症の院外出生児は他院へ三角搬送を行い、当院でしか管理できない中等症・重症例を受け入れた結果、院外出生児の受け入れは前年度とほぼ横ばいの経過であった。 ・当院では緊急対応が必要な中等症・重症例を中心に新生児手術を行っており、軽症例は岐阜大学病院へトリアージを行った結果、26件と適切な小児外科症例手術数に落ち着いてきている。 <p>○出生、母体搬送件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内出生</td> <td>207</td> <td>229</td> <td>198</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>院外出生</td> <td>84</td> <td>63</td> <td>39</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>母体搬送経由</td> <td>36</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児</td> <td>31</td> <td>22</td> <td>24</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>極低出生体重児</td> <td>57</td> <td>48</td> <td>41</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>○新生児手術状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児心臓外科</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2020	2021	2022	2023	総合周産期加算	307	335	291	310	ハイリスク妊娠	209	254	264	287	ハイリスク分娩	91	128	109	132	救急加算	156	149	148	148	項目／年度	2020	2021	2022	2023	保健指導	1,224	1,177	1,131	1,167	母乳相談	114	113	96	92	項目／年度	2020	2021	2022	2023	院内出生	207	229	198	225	院外出生	84	63	39	38	母体搬送経由	36	30	31	44	超低出生体重児	31	22	24	31	極低出生体重児	57	48	41	50	項目／年度	2020	2021	2022	2023	小児心臓外科	15	9	8	8			
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																																																																	
総合周産期加算	307	335	291	310																																																																																	
ハイリスク妊娠	209	254	264	287																																																																																	
ハイリスク分娩	91	128	109	132																																																																																	
救急加算	156	149	148	148																																																																																	
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																																																																	
保健指導	1,224	1,177	1,131	1,167																																																																																	
母乳相談	114	113	96	92																																																																																	
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																																																																	
院内出生	207	229	198	225																																																																																	
院外出生	84	63	39	38																																																																																	
母体搬送経由	36	30	31	44																																																																																	
超低出生体重児	31	22	24	31																																																																																	
極低出生体重児	57	48	41	50																																																																																	
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																																																																	
小児心臓外科	15	9	8	8																																																																																	

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																																			
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				自己 評価	評価 提案	意見																																																																	
		小児脳神経外科	5	6	3	1																																																																			
		小児外科	25	47	23	26																																																																			
		耳鼻科(気管切開)	3	4	4	2																																																																			
		<p>4 がん医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院として地域の医療機関と連携、あらゆる病期のがん患者に対して、良質な医療を提供した結果、COVID-19の影響が残る中であっても入院患者および外来患者は増加した。 <p>○がん患者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>2,926</td> <td>3,069</td> <td>3,342</td> <td>3,465</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>70,467</td> <td>73,399</td> <td>74,646</td> <td>75,528</td> </tr> <tr> <td>がん患者死亡数</td> <td>67</td> <td>62</td> <td>73</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者や一般市民を対象とした研修会やがん事例の検討を行う「がんカンファレンス」、末期がん患者の症例や課題を検討する「病診連携緩和ケアカンファレンス」を感染防止に配慮するためハイブリッド形式で開催し、がん医療に係る啓発を行った。 ・がん認定看護師及びがん関連分野認定看護師が、がん治療及び療養に携わった。 <p>○がん治療及び療養に携わるがん認定看護師等 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん看護専門看護師</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛看護師認定看護師</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法認定看護師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>がん放射線療法認定看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>乳がん看護認定看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア認定看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア認定看護師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食嚥下障害認定看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>				項目／年度	2020	2021	2022	2023	入院	2,926	3,069	3,342	3,465	外来	70,467	73,399	74,646	75,528	がん患者死亡数	67	62	73	79	項目／年度	2020	2021	2022	2023	がん看護専門看護師	1	0	0	1	がん性疼痛看護師認定看護師	2	1	1	1	がん化学療法認定看護師	3	3	3	3	がん放射線療法認定看護師	1	1	1	1	乳がん看護認定看護師	1	1	1	1	緩和ケア認定看護師	1	1	1	1	皮膚・排泄ケア認定看護師	3	3	2	1	摂食嚥下障害認定看護師	1	1	2	2			
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																																																					
入院	2,926	3,069	3,342	3,465																																																																					
外来	70,467	73,399	74,646	75,528																																																																					
がん患者死亡数	67	62	73	79																																																																					
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																																																					
がん看護専門看護師	1	0	0	1																																																																					
がん性疼痛看護師認定看護師	2	1	1	1																																																																					
がん化学療法認定看護師	3	3	3	3																																																																					
がん放射線療法認定看護師	1	1	1	1																																																																					
乳がん看護認定看護師	1	1	1	1																																																																					
緩和ケア認定看護師	1	1	1	1																																																																					
皮膚・排泄ケア認定看護師	3	3	2	1																																																																					
摂食嚥下障害認定看護師	1	1	2	2																																																																					

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																										
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																									
		<p>・身体的・精神的な苦痛を和らげる緩和ケアについて、チームとして取り組んだ。</p> <p>○緩和ケアチームの人員体制等</p> <table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・医師7人、看護師4人、薬剤師2人、臨床心理士2人、栄養士2人、リハビリ4人 ・依頼者数 2020：209人→2021：220人→2022：252人→2023：281人 </td> </tr> </table> <p>○治療の実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外科的治療</td> <td>1,299 (150)</td> <td>1,200 (120)</td> <td>1,319 (149)</td> <td>1,681 (188)</td> </tr> <tr> <td>外来がん化学療法</td> <td>6,469</td> <td>6,549</td> <td>6,599</td> <td>6,525</td> </tr> <tr> <td>入院がん化学療法</td> <td>2,601</td> <td>2,634</td> <td>2,925</td> <td>3,115</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>471</td> <td>445</td> <td>427</td> <td>510</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () はダ・ヴィンチによる手術《内数》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲノム医療に関しては、がんゲノム連携病院として、25件のがんゲノム遺伝子パネル検査を実施した。 ・がん相談支援センターとして、「相談室」、「退院サポート部」及び「セカンドオピニオン」のがん相談をとりまとめている。 ・がん患者の就労支援として、社会保険労務士及び両立支援促進員による相談をそれぞれ月1回、ハローワーク就労支援員による相談を月1回～2回実施した。 <p>○がん相談支援センターの活動実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん相談</td> <td>917</td> <td>1,127</td> <td>1,018</td> <td>1,262</td> </tr> <tr> <td>就労支援 (がん)</td> <td>54</td> <td>89</td> <td>35</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>・2012年度から、がん患者や家族のための「ほっとサロン」を毎日開催し、ピアサポーターによる支援を実施した。また、ほっとサロン学習会を2ヶ月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医師7人、看護師4人、薬剤師2人、臨床心理士2人、栄養士2人、リハビリ4人 ・依頼者数 2020：209人→2021：220人→2022：252人→2023：281人 	項目／年度	2020	2021	2022	2023	外科的治療	1,299 (150)	1,200 (120)	1,319 (149)	1,681 (188)	外来がん化学療法	6,469	6,549	6,599	6,525	入院がん化学療法	2,601	2,634	2,925	3,115	放射線治療	471	445	427	510	項目／年度	2020	2021	2022	2023	がん相談	917	1,127	1,018	1,262	就労支援 (がん)	54	89	35	18			
<ul style="list-style-type: none"> ・医師7人、看護師4人、薬剤師2人、臨床心理士2人、栄養士2人、リハビリ4人 ・依頼者数 2020：209人→2021：220人→2022：252人→2023：281人 																																														
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																										
外科的治療	1,299 (150)	1,200 (120)	1,319 (149)	1,681 (188)																																										
外来がん化学療法	6,469	6,549	6,599	6,525																																										
入院がん化学療法	2,601	2,634	2,925	3,115																																										
放射線治療	471	445	427	510																																										
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																										
がん相談	917	1,127	1,018	1,262																																										
就労支援 (がん)	54	89	35	18																																										

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																				
		<p>ごとに開催する予定であったが、COVID-19の感染防止のため、実施しなかった。</p> <p>○ほっとサロン利用人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>250</td> <td>719</td> <td>750</td> <td>718</td> </tr> </tbody> </table>	2020	2021	2022	2023	250	719	750	718															
2020	2021	2022	2023																						
250	719	750	718																						
06	<p>1 臨床研究及び治験の推進 治験や臨床研究事業に積極的に取り組むため、治験管理部を充実させ、岐阜医療圏地域コンソーシアムを活用することで、受託件数の増加促進を図る。</p> <p>2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進 臨床研究部や高度先端医療部において、治験、EBM、臨床研究、先端・先進・高度医療等の新しい医療について研究研修を推進する。</p>		III		病院の規模からして、治験、臨床研究、倫理委員会審査件数が少ないのではないかと。																				
07	<p>2 電子カルテシステム等に蓄積された各種医療データの有効活用 電子カルテシステム等に蓄積された各種医療データを分析し、医療情報として院内に提供することで、医療の質向上を図るとともに、効果的・効率的な治療の実施を支援する。 また、診療録 記載内容の監査、病理検査結果の患者への説明状況や画像診断結果の確認状況等を点検することにより、院内の医療従事者の総合的なレベルアップを図り、医療の安全と質の向上に寄与する。 診療情報の提供においては、ぎふ清流ネットを活用して、検査結果や放射線検査画像等を迅速に提供し、病診連携などの医療体制の強化を図る。</p>	<p>2 電子カルテシステム等に蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師が記載した電子カルテの診療記録について、記述内容等を診療情報管理委員会で監査し、そのレベル向上を図るとともに、病理検査結果、内視鏡検査結果の患者への説明状況や画像診断結果の確認状況等を点検することにより、医療の安全と質の向上に努めた。また、医療画像の提供（6, 814件）やぎふ清流ネットの活用により、病診連携の実現に努めた。 ・診療情報として蓄積されたDPCデータについては、多職種で構成する分析チームにより、分析ソフトによる解析とコンサルタントを活用した10診療科の分析を実施した。また、分析により指摘した事項について、半年後の定量的な評価を継続した。 <p>○分析報告会の実施状況とコンサルティング委託費用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分析報告会数</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>定量評価</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>委託費用 (千円)</td> <td>2,777</td> <td>2,999</td> <td>3,109</td> <td>3,109</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2020	2021	2022	2023	分析報告会数	10	9	10	10	定量評価	○	○	○	○	委託費用 (千円)	2,777	2,999	3,109	3,109	IV		ぎふ清流ネットをもっと活用していただきたい。
項目	2020	2021	2022	2023																					
分析報告会数	10	9	10	10																					
定量評価	○	○	○	○																					
委託費用 (千円)	2,777	2,999	3,109	3,109																					

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見
08	<p>1 質の高い臨床研修医の養成等 最先端の医療技術・知識の取得のため、各種学会や研修会、講習会等へ参加できるよう支援する。 優秀な臨床研修医を確保・育成するため、岐阜県医師育成・確保コンソーシアム及び岐阜医療圏地域コンソーシアムとの連携や各種研修シミュレーターの導入等により、研修指導医の養成を図るとともに、独自の臨床研修プログラムを充実させる。また、当センター独自の医学生向けの説明会を開催する。当センターの研修プログラムにマッチングした研修医に対しては、医師は勿論のこと、看護師、薬剤師、その他コメディカル、事務職員等、当センターのすべての職員が研修医の教育に関わり、チーム医療の一員としての優秀な医師の養成を支援する。</p> <p>2 専攻医の育成等 平成30年度に開始された新専門医制度の下、研修基幹施設として、内科、小児科、整形外科の専攻医に対する研修を実施する。 この専攻医に対しては、専門医取得に向けた当センター独自の研修プログラムにより、スムーズに専門医取得ができるように推進する。また、岐阜医療圏地域コンソーシアム及び研修協力病院との連携や、看護部、中央検査部、中央放射線部、薬剤部等病院内の各部署の協力を得て、研修プログラムの充実を図るとともに、チーム医療が円滑に行えるよう支援する。さらに、専門医取得に向けて各種学会、研究会等への参加について支援する。</p>		III		今後さらに多くの医者を育てていただきたい。
10	<p>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による県全体の医療の確保 へき地医療拠点病院として、医師不足地域や医</p>		III		他の医療機関への人的支援が十分ではない。 医者の派遣に協力いただきたい。

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見
	師不足診療科、へき地診療所等への診療支援（人的支援）を継続して実施する。				
11	医療に関する鑑定や調査、講師派遣等の社会的な要請に対する協力を行う。			III	医師の派遣に協力いただきたい。
13	2 基幹災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進 地域の災害拠点病院や消防機関と連携し、災害医療の教育・研修・訓練を実施する。また、既存の食料等の優先納入契約を継続するとともに必要に応じて見直しを行う。	2 基幹災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進 ・災害時における医療体制の連携強化のため、岐阜赤十字病院及び澤田病院と被害状況及び災害体制についての情報共有訓練を実施した。 ・事件現場における傷病者の発生に対し、応急的な治療を行うことで救命率を向上させるため、岐阜県警察と事件現場医療派遣チーム（IMAT）の運用に関する協定を継続した。		IV	COVID-19 に対する協力は評価できる。
14	2 大規模災害発生時のDMATの派遣 岐阜県からの要請に基づきDMATを派遣する。	2 大規模災害発生時のDMATの派遣 ・令和6年能登半島地震に関する要請により、DMAT5班（延25人）、看護師及び薬剤師の派遣を行うとともに、岐阜県庁に設置されたDMAT調整本部に統括DMATや小児周産期リエゾンを派遣し、支援した。		IV	能登半島地震に関して協力は大変評価できる。
15	2 診療情報のバックアップシステムの適正管理 大規模災害やシステム障害に備え、院内2か所の電算室において二重化している診療情報データや遠隔地へバックアップを行っている診療情報データの適正な維持管理に努める。 また、各部署へ配備した診療情報参照用パソコン（ローカルSS-MIXストレージ）の適正な維持管理に努める。	2 診療情報のバックアップシステムの適正管理 ・大規模災害やシステム障害に備え、院内2か所の電算室と遠隔地へバックアップを行っている診療情報データの適正な維持管理に努めた。また、各部署へ配備した診療情報参照用パソコン（ローカルSS-MIXストレージ）の適正な維持管理に努めた。		IV	
16	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 2019年度末から発生しているCOVID-19に対して、感染が収束するまでの間岐阜県の要請に応じて、必要な病床を確保し、患者の受入れに必要な人員体制の整備、物資等の確保を行う。 指定地方公共機関として、新型インフルエンザ等対策特別措置法及び業務計画に定めるところ	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 ・2020年2月に立ち上げたCOVID-19対策本部を継続し、病院幹部と各部門責任者、感染対策部メンバーなどにて月1回開催した。 ・診療・検査医療機関として、発熱外来を設置し発熱患者のトリアージを継続した。 ・新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、5階西病棟をCOVID-19患者受け入れ病棟として確保することに加え、診療体制を患者数に応じたものに強化した。また、専用病棟以外でも受け入れが出来るよう準備を進		IV	

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見						
	<p>により、岐阜県、関係市町及び医療機関と相互に連携・協力し、新型インフルエンザ等対策の実施に努める。</p> <p>また、当センターの受入れ体制を確保するため、必要な物資及び資材の備蓄・整備・点検並びに施設及び設備の整備・点検を行う。</p>	<p>めた。</p> <p>○COVID-19診療体制</p> <table border="1"> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>毎週1名2週交替 リーダー(感染症内科2名 or 呼吸器内科2名)</td> </tr> <tr> <td>軽症～中等症Ⅰ</td> <td>順次当番制 (呼内→糖内→循内→消内→腎内→神内→感内→外科→整形→脳外→心呼外→泌尿器)</td> </tr> <tr> <td>中等症Ⅱ以上</td> <td>呼吸器内科・感染症内科のペア体制</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク・ガウン・消毒薬などの必要物資の調達・備蓄に努めた。 ・通院中の外来患者、入院患者に対するCOVID-19ワクチン接種(ファイザー)に取り組んだ。また県からの依頼によりノババックス社製ワクチンの接種も実施し、ファイザー製ワクチンの接種ができない方でも接種できるよう対応した。 ・COVID-19院内感染を未然に防止するため、職員からの発熱等の報告に対して迅速に対応する体制を整え、各部署から毎日就業制限者の報告を求め、状況把握に努めた。 ・外来や病棟でCOVID-19陽性の患者や職員が出た際には、周囲の患者、職員の接触状況を聴取して集団検査を実施し、感染対策部の主導のもと、看護部、各診療科の医師、各部門・部署の所属長などが協力して行う体制を整備して、感染拡大を防止できた。 ・院内職員及びその家族に対するCOVID-19ワクチンの接種を実施し、安全な医療を提供できる体制を整えた。 	チームリーダー	毎週1名2週交替 リーダー(感染症内科2名 or 呼吸器内科2名)	軽症～中等症Ⅰ	順次当番制 (呼内→糖内→循内→消内→腎内→神内→感内→外科→整形→脳外→心呼外→泌尿器)	中等症Ⅱ以上	呼吸器内科・感染症内科のペア体制			
チームリーダー	毎週1名2週交替 リーダー(感染症内科2名 or 呼吸器内科2名)										
軽症～中等症Ⅰ	順次当番制 (呼内→糖内→循内→消内→腎内→神内→感内→外科→整形→脳外→心呼外→泌尿器)										
中等症Ⅱ以上	呼吸器内科・感染症内科のペア体制										
17	<p>1 医療型障害児入所施設の運営の継続 当センターが有する専門医療機能を活用し、濃厚な医療的ケアを要する重症心身障がい児に対する専門的な医療的ケアを継続する。</p> <p>2 医療・療育体制の充実 入所施設の各種施設・設備を活用し、医師、看護師、リハビリテーション技師、保育士、介護福祉士、管理栄養士等の連携による療育及び機能訓</p>		Ⅲ	Ⅳ	医療的ケア児に対する医療の中心となっていたきたい。						

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																								
	<p>練プログラムの充実を図る。 また、訪問教育実施のための受入れ態勢の整備を行う。</p> <p>3 入所児への在宅移行又は転院に向けた支援の実施 入所児の在宅移行又は転院に向けた支援者会議を必要に応じて開催する。</p>																																												
18	<p>1 レスパイトケアのための短期入所機能の継続 在宅で重症心身障がい児を抱える家族の精神的・身体的負担の軽減を図るため、現在の医療型障害児入所施設内の4床（空床利用）による短期入所病床数を増やす。</p>	<p>1 レスパイトケアのための短期入所施設の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障がい児（者）の在宅療養が増える傾向にあり、保護者等の介護の負担軽減と児（者）への良好な療養環境の提供を目指して、段階的に短期入所を増床して受入人数を増やした。 ・利用延人数は前年度比43%の増、利用延べ日数は前年比58.5%の増となっており、利用が大幅に増加した。 <p>○短期入所定員数（空床利用型）の推移</p> <table border="1"> <tr><td>2016.7～2017.10</td><td>定員2人</td></tr> <tr><td>2017.11～2023.1</td><td>定員3人</td></tr> <tr><td>2023.2～2023.4</td><td>定員4人</td></tr> <tr><td>2023.5～2023.9</td><td>定員5人</td></tr> <tr><td>2023.10～</td><td>定員6人</td></tr> </table> <p>○短期入所施設の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>契約者数</td> <td>92人</td> <td>97人</td> <td>106人</td> <td>107人</td> </tr> <tr> <td>利用延人員</td> <td>97人</td> <td>123人</td> <td>172人</td> <td>246人</td> </tr> <tr> <td>利用延日数</td> <td>465日</td> <td>541日</td> <td>809日</td> <td>1,283日</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>42.5%</td> <td>49.4%</td> <td>70.1%</td> <td>64.7%</td> </tr> <tr> <td>予約率</td> <td>85.5%</td> <td>78.7%</td> <td>82.4%</td> <td>73.7%</td> </tr> </tbody> </table>	2016.7～2017.10	定員2人	2017.11～2023.1	定員3人	2023.2～2023.4	定員4人	2023.5～2023.9	定員5人	2023.10～	定員6人	項目／年度	2020	2021	2022	2023	契約者数	92人	97人	106人	107人	利用延人員	97人	123人	172人	246人	利用延日数	465日	541日	809日	1,283日	利用率	42.5%	49.4%	70.1%	64.7%	予約率	85.5%	78.7%	82.4%	73.7%	IV		在宅医の駆け込み寺的な役割も期待したい。
2016.7～2017.10	定員2人																																												
2017.11～2023.1	定員3人																																												
2023.2～2023.4	定員4人																																												
2023.5～2023.9	定員5人																																												
2023.10～	定員6人																																												
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																									
契約者数	92人	97人	106人	107人																																									
利用延人員	97人	123人	172人	246人																																									
利用延日数	465日	541日	809日	1,283日																																									
利用率	42.5%	49.4%	70.1%	64.7%																																									
予約率	85.5%	78.7%	82.4%	73.7%																																									
20	<p>1 人員配置の検証及び弾力的運用 各職種の職員1人あたりの医業収入推移等を</p>	<p>1 人員配置の検証及び弾力的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年度をベースとした各職種の職員1人あたりの医業収入推移を検証 	IV																																										

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																														
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																													
	<p>検証した上で、医療需要の動向や経営状況の変化に迅速かつ的確に対応した診療科の変更、各職種の人員配置を弾力的に行う。</p>	<p>し、医療需要と経営状況のバランスを検討した上で、各職種の人員配置を弾力的に行った。</p> <p>○各職種の職員1人あたりの医業収入 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>98.1</td> <td>107.3</td> <td>105.4</td> <td>106.0</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>95.1</td> <td>102.1</td> <td>105.1</td> <td>104.8</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>120.1</td> <td>119.4</td> <td>132.5</td> <td>135.1</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>81.7</td> <td>94.7</td> <td>93.2</td> <td>82.5</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>81.5</td> <td>80.8</td> <td>74.8</td> <td>66.3</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>78.2</td> <td>77.7</td> <td>71.7</td> <td>77.5</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>114.0</td> <td>106.9</td> <td>97.3</td> <td>109.4</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>38.3</td> <td>41.5</td> <td>31.8</td> <td>32.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※数値は2015年度をベースとした伸び率</p>	項目/年度	2020	2021	2022	2023	医師	98.1	107.3	105.4	106.0	看護師	95.1	102.1	105.1	104.8	薬剤師	120.1	119.4	132.5	135.1	臨床検査技師	81.7	94.7	93.2	82.5	放射線技師	81.5	80.8	74.8	66.3	リハビリ技師	78.2	77.7	71.7	77.5	管理栄養士	114.0	106.9	97.3	109.4	臨床工学技士	38.3	41.5	31.8	32.9			
項目/年度	2020	2021	2022	2023																																														
医師	98.1	107.3	105.4	106.0																																														
看護師	95.1	102.1	105.1	104.8																																														
薬剤師	120.1	119.4	132.5	135.1																																														
臨床検査技師	81.7	94.7	93.2	82.5																																														
放射線技師	81.5	80.8	74.8	66.3																																														
リハビリ技師	78.2	77.7	71.7	77.5																																														
管理栄養士	114.0	106.9	97.3	109.4																																														
臨床工学技士	38.3	41.5	31.8	32.9																																														
21	<p>1 人事評価システムによる公平かつ客観的な人事制度の運用</p> <p>人事評価システムにより職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価するとともに、職員本人へ評価結果をフィードバックすることにより、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度の運用に努める。</p>	<p>1 人事評価システムによる公平かつ客観的な人事制度の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事評価システムにより職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度の運用に努めた。 ・目標評価については、目標の困難度と達成度を判定することにより、公平かつ客観的な評価を図った。また、6月支給の勤勉手当において、目標評価の成績優秀者にはその結果を手当に反映した。 	IV																																															
22	<p>1 事務部門職員の確保及び育成</p> <p>経営管理機能を強化するため、病院特有の事務に幅広く精通した職員を計画的に確保・育成する。</p> <p>また、各分野毎の専門性の向上を図るため、診療報酬等の医事業務や診療情報分析、病院経営に係る財務経営分析、危機管理等専門性の高い業務に関する研修への参加及び診療情報管理士や医療経営士等の病院運営に寄与する資格取得を支援する。</p>	<p>1 事務部門職員の確保及び育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門性の向上のため、職務に関連する研修の実施や資格取得を支援する「事務局職員人材育成計画」に沿って、医療経営士の資格取得に向けた研修を受講させた。 <p>○事務職員の状況 (年度末時点) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>67</td> <td>67</td> <td>67</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>うち、診療情報管理士</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>うち、医療経営士</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	2023	プロパー職員	67	67	67	70	うち、診療情報管理士	10	9	9	9	うち、医療経営士	2	2	2	2	IV																											
項目/年度	2020	2021	2022	2023																																														
プロパー職員	67	67	67	70																																														
うち、診療情報管理士	10	9	9	9																																														
うち、医療経営士	2	2	2	2																																														

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				自己 評価	評価 提案	意見																																			
		うち、院内がん登録実務 中級認定者	2	2	2	2																																					
		県派遣職員	3	2	2	2																																					
		合計	70	69	69	72																																					
23	<p>1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底 医療法をはじめとする国の法令や関係規程、法人が定める倫理方針や各種規程を遵守することで、保健所や厚生局からの立入検査及び指導に適切に対応する。</p> <p>また、監事監査、内部監査、会計監査人監査等の実施により、チェック体制を確立し、コンプライアンスを確実なものとする。</p> <p>岐阜県情報公開条例に基づく公文書の公開及び岐阜県個人情報保護条例その他法人規程に基づくカルテ等医療情報の開示を着実にを行い、医療の透明性を確保するとともに、医療情報提供の環境を整備する。</p>	<p>1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員に対して個人情報保護に関する研修を行った。 ・全職員を対象にした個人情報保護に関する研修をオンデマンド形式で複数回実施し、トータルで1,569人が参加、受講率100%となった。 ・医療倫理に関する研修をオンデマンド形式で配信し、1,451人の職員の参加を得た。 <p>○各種研修受講状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">個人情報保護</td> <td>1,055</td> <td>996</td> <td>1,192</td> <td>1,569</td> </tr> <tr> <td>70.9</td> <td>67.1</td> <td>82.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">医療倫理</td> <td>1,380</td> <td>1,430</td> <td>1,415</td> <td>1,451</td> </tr> <tr> <td>99.6</td> <td>99.9</td> <td>97.5</td> <td>97.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上段：受講延べ数（単位：人）、下段：受講率（単位：％）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事監査（隔月実施）、会計監査人監査（年4回実施）及び内部監査の実施により、コンプライアンスを徹底した。 ・患者や家族からの請求による個人情報の開示を適切に行った。 <p>○カルテ開示請求・開示件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>185</td> <td>244</td> <td>226</td> <td>228</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>180</td> <td>234</td> <td>223</td> <td>217</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	2023	個人情報保護	1,055	996	1,192	1,569	70.9	67.1	82.0	100.0	医療倫理	1,380	1,430	1,415	1,451	99.6	99.9	97.5	97.8	項目/年度	2020	2021	2022	2023	請求件数	185	244	226	228	開示件数	180	234	223	217	IV		
項目/年度	2020	2021	2022	2023																																							
個人情報保護	1,055	996	1,192	1,569																																							
	70.9	67.1	82.0	100.0																																							
医療倫理	1,380	1,430	1,415	1,451																																							
	99.6	99.9	97.5	97.8																																							
項目/年度	2020	2021	2022	2023																																							
請求件数	185	244	226	228																																							
開示件数	180	234	223	217																																							
24	<p>2 情報セキュリティに対する意識向上 職員に対する情報セキュリティ研修及び啓発を行い、情報セキュリティ意識の向上を図る。</p>	<p>2 情報セキュリティに対する意識向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、「情報セキュリティ通信」及び情報セキュリティに関する周知文書を随時発行することにより全職員への啓発を行い、情報セキュリティ意識の向上を図った。 	IV		実際にサイバー攻撃を受け電子カルテシステムが利用できないことを想定した初動訓練の実施は高く評価できる。																																						

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・サイバーセキュリティ対策について、岐阜県警、岐阜県医療整備課と合同で、サイバーインシデント対応研修を12月に開催した。病院長をはじめ、医師、看護師、コメディカル、事務等合計39人が参加し、サイバーインシデントの現状を把握すると共に、実際にサイバー攻撃を受け、電子カルテシステムが利用できないことを想定した初動訓練を実施した。 																							
25	<p>1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施</p> <p>業務内容の集約化・簡素化・迅速化・費用削減等の提案を評価するプロポーザル方式による業者選定をはじめ、複数年契約や関連性のある業務の包括委託化等多様な契約手法の導入を検討する。また、複数年契約を行うことによるメリットの有無を検討し、メリットがあるものについては、積極的に複数年契約の締結を行う。</p>	<p>1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営分析等を行うことで、薬品や診療材料の購入価格や委託業務の複数年契約等の経営改善すべき点の把握に努め、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。 ・複数メーカーの機種選定を進め、ベンチマークを利用した交渉による医療機器の購入を行い、当初の予定金額より年間約5.5千万円のコスト削減ができた。 ・診療材料について、ベンチマークを活用して新規採用品目の価格を抑えるとともに、既存使用品目も継続して価格交渉を行い、節減効果を維持した。 ・医薬品について、経費圧縮等に関するアドバイザーの活用により、継続的な価格交渉を行い、経費削減を図った。 ・複数年契約が終了する一部の業務委託において、その評価を行うとともに、経営的にメリットのある契約手法を検討し、次期契約の締結を行った。 <p>○複数年契約の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>契約数</td> <td>16</td> <td>21</td> <td>36</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">単位：件</p>	項目/年度	2020	2021	2022	2023	契約数	16	21	36	20	IV												
項目/年度	2020	2021	2022	2023																					
契約数	16	21	36	20																					
26	<p>2 医療資源を最大限活用した施設基準等の適正管理</p> <p>収益の向上を図るため、2022年度診療報酬改定を踏まえ、人的な医療資源を最大限活用した新たな施設基準の取得を積極的に検討する。また、既に届け出た施設基準やDPC病院群の要件指標を定期的に確認し、その安定的な維持に努める。</p> <p>3 未収金の発生防止対策等</p>	<p>2 医療資源を最大限活用した施設基準等の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療支援病院入院診療加算（紹介率：50%以上、逆紹介率：70%以上）の算定基準（要件）を大幅に超えることができた。 ・DPC特定病院群の各種要件（診療密度、外保連指数、内保連疾患割合）について、毎月状況を確認し、各数値の維持に努めた。 <p>○各種指標の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>70.0%</td> <td>71.9%</td> <td>67.2%</td> <td>74.3%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>97.6%</td> <td>110.5%</td> <td>107.9%</td> <td>111.2%</td> </tr> <tr> <td>診療密度</td> <td>1,329.9</td> <td>1,427.4</td> <td>1,378.9</td> <td>1,408.9</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	2023	紹介率	70.0%	71.9%	67.2%	74.3%	逆紹介率	97.6%	110.5%	107.9%	111.2%	診療密度	1,329.9	1,427.4	1,378.9	1,408.9	IV		非採算性の特殊医療を行う医療機関としては、外来・入院とも非常に良好な成績を上げている。
項目/年度	2020	2021	2022	2023																					
紹介率	70.0%	71.9%	67.2%	74.3%																					
逆紹介率	97.6%	110.5%	107.9%	111.2%																					
診療密度	1,329.9	1,427.4	1,378.9	1,408.9																					

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				自己 評価	評価 提案	意見																						
	<p>診療費に係る未収金の発生防止対策として、緊急に入院となった患者への面談を実施することで保険確認や支払相談に早期に着手し、未収金発生の未然防止を徹底する。</p> <p>また、支払に関する相談に応じる体制の確保に加え、現金又はクレジットカード以外の支払手法の拡大を検討する。</p> <p>やむなく未収金となった場合には、支払計画の作成を促すとともにその履行を確認し、早期の督促、催告を実施する。あわせて回収が困難と見込まれる未収金については、平成22年度末に開始した債権回収業務委託（弁護士法人）を引き続き実施し、効果的、効率的な未収金回収に努める。</p> <p>5 効率的な資金運用</p> <p>現金の保管方法について、安定した債券の取得等による効率的かつ有利な資金運用を継続する。</p>	<table border="1"> <tr> <td>外保連指数</td> <td>15.52</td> <td>15.53</td> <td>15.63</td> <td>15.45</td> </tr> <tr> <td>内保連疾患割合</td> <td>2.4%</td> <td>3.1%</td> <td>2.8%</td> <td>2.6%</td> </tr> </table>	外保連指数	15.52	15.53	15.63	15.45	内保連疾患割合	2.4%	3.1%	2.8%	2.6%																		
外保連指数	15.52	15.53	15.63	15.45																										
内保連疾患割合	2.4%	3.1%	2.8%	2.6%																										
		<p>3 未収金の発生防止対策等</p> <p><発生防止></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院説明の際に、入院決定時に概算費用の提示や福祉制度の説明などを行った。また、入院患者には原則として限度額認定証の提示を求めていることを説明し、その手続きを依頼した。 ・救急搬送患者に対しては、医療相談員が身元確認、保険確認を早期に行い、医療保険制度の活用を紹介するなど高額な患者負担額とならないよう努めた。 ・出産に伴う入院費については、出産一時金直接払制度を利用していただくよう徹底を図った。制度の利用が困難な事案については、医療相談員が早期に介入し、退院時の支払が出来るよう支援を行った。 <p><回収></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回、定期に督促状を發布し、早期に未収金回収に着手した。 ・督促状發布後、随時催告状を発送するとともに必要に応じ夜間電話催告や臨宅催告を行った。 ・未納者が受診した際には、面談による納付催告を実施した。 ・回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。 ・診療費を分納により支払っている患者について、2020年8月より直接納付から金融機関口座振替への切替を進める取り組みを継続し、確実な収納に努めた。 <p>○回収実績（年度末現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>累積委託金額 (単位：千円)</td> <td>199,628</td> <td>201,662</td> <td>205,233</td> <td>215,571</td> </tr> <tr> <td>累積回収金額 (単位：千円)</td> <td>91,071</td> <td>94,062</td> <td>96,006</td> <td>99,224</td> </tr> <tr> <td>累積回収率 (単位：%)</td> <td>45.6</td> <td>46.6</td> <td>46.8</td> <td>46.0</td> </tr> <tr> <td>単年度回収金額</td> <td>5,766</td> <td>2,986</td> <td>1,943</td> <td>3,219</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2020	2021	2022	2023	累積委託金額 (単位：千円)	199,628	201,662	205,233	215,571	累積回収金額 (単位：千円)	91,071	94,062	96,006	99,224	累積回収率 (単位：%)	45.6	46.6	46.8	46.0	単年度回収金額	5,766	2,986	1,943	3,219			
項目／年度	2020	2021	2022	2023																										
累積委託金額 (単位：千円)	199,628	201,662	205,233	215,571																										
累積回収金額 (単位：千円)	91,071	94,062	96,006	99,224																										
累積回収率 (単位：%)	45.6	46.6	46.8	46.0																										
単年度回収金額	5,766	2,986	1,943	3,219																										

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																		
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 				自己 評価	評価 提案	意見																																																
		(単位：千円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table> ○未収金発生状況（翌年度5月末現在） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">2020</th> <th colspan="2">2021</th> <th colspan="2">2022</th> <th colspan="2">2023</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度分</td> <td>348</td> <td>42,633</td> <td>289</td> <td>38,748</td> <td>386</td> <td>24,469</td> <td>485</td> <td>43,583</td> </tr> <tr> <td>現年度分</td> <td>232</td> <td>15,183</td> <td>281</td> <td>22,686</td> <td>332</td> <td>41,398</td> <td>302</td> <td>22,454</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>580</td> <td>57,816</td> <td>570</td> <td>61,434</td> <td>718</td> <td>65,867</td> <td>787</td> <td>66,037</td> </tr> </tbody> </table> 5 効率的な資金運用 <ul style="list-style-type: none"> ・南棟建設費用の支払いのため、保有債券の8億円分を売却した。 ・保有している債券から発生した今年度の利息は、約8千万円だった。 									2020		2021		2022		2023		件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	過年度分	348	42,633	289	38,748	386	24,469	485	43,583	現年度分	232	15,183	281	22,686	332	41,398	302	22,454	合計	580	57,816	570	61,434	718	65,867	787	66,037			
	2020		2021		2022		2023																																																	
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)																																																
過年度分	348	42,633	289	38,748	386	24,469	485	43,583																																																
現年度分	232	15,183	281	22,686	332	41,398	302	22,454																																																
合計	580	57,816	570	61,434	718	65,867	787	66,037																																																
27	1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底 医薬品及び診療材料については、ベンチマーク及び外部アドバイザーの活用により、価格交渉を行うとともに、より安価で適正な品質の同種同効品への切り替えを推進し、購入費の削減に努める。 また、物流システムによる医薬品及び診療材料の定数設定・在庫管理を行いながら、定期的に棚卸を実施し、適正な管理を行う。	1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品については、アドバイザー活用による情報収集により価格交渉を実施し、年間薬価差益が約2億8千万円となった。 ・診療材料については、ベンチマークを活用して価格交渉を実施し、当初の予定金額より年間約3,600万円のコスト削減ができた。 ・各部署における診療材料の定数配置について、継続的に品目及び数量の見直しを行い、効率的な管理を推進した。 ○医薬収益に対する材料費比率 単位：％ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料比率 ※</td> <td>30.4</td> <td>30.9</td> <td>30.7</td> <td>31.4</td> </tr> <tr> <td>(内 薬品費)</td> <td>16.2</td> <td>16.2</td> <td>16.4</td> <td>16.6</td> </tr> <tr> <td>(内 診療材料費)</td> <td>14.2</td> <td>14.6</td> <td>14.3</td> <td>14.8</td> </tr> </tbody> </table> ※重症心身障がい児施設を除く				項目／年度	2020	2021	2022	2023	材料比率 ※	30.4	30.9	30.7	31.4	(内 薬品費)	16.2	16.2	16.4	16.6	(内 診療材料費)	14.2	14.6	14.3	14.8	IV																														
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																																				
材料比率 ※	30.4	30.9	30.7	31.4																																																				
(内 薬品費)	16.2	16.2	16.4	16.6																																																				
(内 診療材料費)	14.2	14.6	14.3	14.8																																																				

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																														
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																													
29	<p>1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実</p> <p>24時間保育や病児・病後児保育を継続的に実施することで、育児中の職員が安心して勤務できる環境をつくる。また、保育の質の向上や運営体制の充実等を図るため、より良い保育環境の整備に取り組む。</p> <p>離職防止としては、看護師定着プログラムを継続的に実施する。</p> <p>また、ワークライフバランスの実現に向け、改正育児介護休業法を確実に遂行するとともに、出産・育児の支援制度に関する手引きの改正・周知等により、女性職員のみならず全ての職員が働きやすい労働環境の改善について引き続き検討する。</p> <p>さらに、仕事と生活をともに充実したものとするため、1箇月単位の変形労働時間制の利点を活かし、時間外勤務時間の縮減に取り組むとともに、年次有給休暇は年10日以上を取得を目標とし、特別休暇の取得促進、代休の取得や週休日の振替の徹底等、適切な労働時間の管理の下、職員の勤務環境に配慮する。</p> <p>2 働き方改革の実現に向けた取組</p> <p>策定した「働き方改革推進計画」に基づき、タイムレコーダー等の活用により労務管理を適正に行うとともに、働き方改革の実現に向けたドクターズアシスタント（医師事務作業補助者）の拡充及び能力開発と処遇改善をはじめ、看護補助者の安定確保、特定行為看護師やコメディカルの活用等によるタスクシフト／シェア等による業務効率化を推進する。特に、医師の働き方改革につ</p>	<p>1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育施設については、2012年2月から24時間保育を継続している。また、病児・病後児保育施設の利用者についても、定員を増員したり、利用資格の拡大を実施したことで、多くの職員が利用できている。 ・ハラスメント防止に向けて、2つの院内相談窓口の設置や専用アドレスの運用を継続した。 ・女性職員が働きやすい労働環境への改善に向け、「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」にて、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画及び女性活躍推進法に基づく行動計画の進捗状況を確認した。 ・衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、現状把握と縮減に向けた啓発に努めた。 ・看護師のみならず医師やコメディカルについても、変形労働時間制による勤務を採用することにより、時間外勤務時間の縮減に努めた。 ・年10日以上有給取得目標を病院全体で推進し、年次休暇の取得日数が芳しくない職員には個別に取得促進を指導した。 <p>○院内保育所の運営状況（年度末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所施設（こぼと） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>34</td> <td>44</td> <td>34</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育施設（バンビ） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>86</td> <td>169</td> <td>156</td> <td>387</td> </tr> <tr> <td>保育士・看護師数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>○職員1人あたりの休暇、時間外勤務状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年次有給休暇（単位：日／年）</td> <td>10.9</td> <td>12.8</td> <td>14.4</td> <td>15.2</td> </tr> <tr> <td>時間外勤務（単位：時間／月）</td> <td>11.9</td> <td>13.1</td> <td>12.7</td> <td>11.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※夏季休暇等の取得数も含む（2020年度以前）</p> <p>2 働き方改革の実現に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員（医師除く）の労働時間の適正な把握に向けて、タイムレコーダー（I 	項目／年度	2020	2021	2022	2023	入所者数	34	44	34	43	保育士数	16	18	18	19	項目／年度	2020	2021	2022	2023	延べ利用者数	86	169	156	387	保育士・看護師数	3	3	3	3	項目／年度	2020	2021	2022	2023	年次有給休暇（単位：日／年）	10.9	12.8	14.4	15.2	時間外勤務（単位：時間／月）	11.9	13.1	12.7	11.6	IV		
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																														
入所者数	34	44	34	43																																														
保育士数	16	18	18	19																																														
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																														
延べ利用者数	86	169	156	387																																														
保育士・看護師数	3	3	3	3																																														
項目／年度	2020	2021	2022	2023																																														
年次有給休暇（単位：日／年）	10.9	12.8	14.4	15.2																																														
時間外勤務（単位：時間／月）	11.9	13.1	12.7	11.6																																														

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見
	<p>いては、2024年4月から開始される時間外労働上限規制に向けて、必要な取組を実施する。</p> <p>3 職員のモチベーション向上に資する取組</p> <p>職員提案箱や職員調等により職員のニーズを把握し必要に応じて対策を講じていくとともに、人事評価制度や職員表彰制度による公平で客観的な評価を実施した上で、評価結果に対する処遇反映のあり方について検討し、病院で働く全ての職員が誇りを持って職責が果たせるよう、やりがいの創出に努める。</p> <p>また、職員満足度の結果を踏まえ、数値の向上に向けた取組を実施する。</p>	<p>Dカードによる打刻システム)を継続した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の勤怠管理に向けてクラウド型システム (Dr. joy) を新たに導入し、ピーコンによる自動打刻及び時間外勤務時間や年次休暇等の休暇について電子申請 (承認) 化を実現した。 ・医師の労働時間短縮に向け、「医師の働き方改革に関するワーキンググループ」会議における議論を踏まえ業務と自己研さんの区分を策定し、診療科及び各医師へ周知した。 ・医師の負担軽減に向け、医師と医療支援部門職員との間でタスク・シフト (シェア) を推進するとともに、随時項目の洗い出しを行った。 ・医師の業務負担軽減に向けたタスク・シフトを進めるため、ドクターズアシスタント (医師事務作業補助者) の定着に向け人員配置のバックアップ体制を整備し、勤務時間を延長する勤務体系を増設することで、医師ニーズを満たした。 ・医師事務支援に係る幅広い知識とスキルを持ったドクターズアシスタントを評価するため、段階的な評価制度を策定した。 ・理事長が中心となり、定期的に近隣病院 (岐阜市民病院・岐阜大学病院・松波総合病院) の幹部との情報交換会を開催し、取り組み状況の共有や諸課題等について議論した。 ・従来からの産業医 (当院医師・副院長) による健康相談に加え、時間外・休日労働が100時間以上となる前に必要に応じて就業上の措置を講ずることを目的に、当該月の15日時点で時間外・休日労働時間が45時間を超えた医師を抽出し、面接指導 (健康確保措置) を開始した。 ・勤務間インターバル確保 (連続勤務時間制限) 及び代償休息確保 (健康確保措置) を可能とする勤務体制 (予定勤務表の作成) となるよう、当直明けは原則休日とし、遅くとも正午にはお退勤するよう努めた。 ・各診療科部長 (時間外勤務命令権者) との面談を実施し、医師の時間外勤務の状況や勤務の実態等についてヒアリング等により把握するとともに、各診療科部長に対し、医師の労働時間上限規制への対応や働き方改革の必要性等について説明会を実施した。併せて、勤務間インターバルや代償休息の概要や取得方法等について制度説明会を実施した。 ・病院ホームページに、「症状説明等 (インフォームド・コンセント) の時間内実施」、「複数主治医制の導入」、「タスク・シフト/シェアの推進」について掲載 (入院案内資料にも掲載) し、患者への周知に努めた。 			

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見
		3 職員のモチベーション向上に資する取組 ・人事評価制度により、公平かつ客観的な評価を図り、目標評価における成績優秀者にはその結果を手当に反映した。 ・職員提案箱を設置し、回収した意見を病院運営に反映した。			
31	1 病棟などの施設等の計画的な整備 「南棟」の建設については、建物の本体工事を11月末までに完了させ、建物内に配備する備品を配置し、年度内の供用開始を目指す。 また、老朽化した機械設備及び電気設備については、策定した更新計画に従い、順次設備更新を進める。 2 医療機器の計画的な更新・整備 主要医療機器の更新・整備計画に基づき、耐用年数を経過した医療機器及び新たに購入する医療機器については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展等から総合的に判断し、当センターとして担うべき機能の強化が図られるよう、計画的な更新及び整備を図る。		III	IV	施設、機器の整備は十分できている。
32	1 内部統制の取組 内部監査やリスク評価等の結果を法人規程、マニュアル、手順書等に適切に反映させ、継続的に見直しを行うことで、内部統制の充実強化を図る。		III	IV	内部統制は十分できている。